

科目コード	N22318	科目名	地域包括ケア論				
履修区分	必修	開講期	3年前期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	武田留美子						
授業の概要	<p>本授業では、地域包括ケアシステムの理念・仕組みを理解し、対象者のライフステージや健康課題に応じた支援のあり方を学ぶ。成人・高齢者、難病、精神障害者、小児、母子、障害者・障害児など多様な対象を取り上げ、地域包括支援センターの役割や実践事例を通して、地域における多職種連携・協働の実際を理解する。</p> <p>また、ゲストスピーカーによる実践的な講話やグループワーク（地区分析・発表）を通して、地域で人々が健康に暮らし続けるために看護職が果たす役割について主体的に考える力を養う。</p>						
DPとの関連	平和を希求する姿勢を身につける						
	豊かな教養を身につける						
	高い倫理観と責任感、他者との信頼関係を築き協働できる能力を身につける						
	看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につける						
	地域に生活している人々に対して深い関心と理解する姿勢を身につける						
	自らの学びを通じて人々や地域社会に積極的に関わり貢献しようとする意欲を身につける						
	多様な保健医療福祉の場での多職種との連携で、看護専門職として機能を発揮する能力を身につける						
	社会情勢や人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につける						
到達目標	異なる文化や多様な考えを受け入れ、看護職者としての価値観を形成する能力を身につける						
	DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力						
	1. 地域包括ケアシステムの理念、目的、および構成要素を説明できる。						
	2. 成人・高齢者、難病、精神障害者、小児、母子、障害者・障害児など、対象者の特性に応じた地域包括ケアの視点を説明できる。						
	3. 地域包括支援センターをはじめとする関係機関の役割と、多職種連携・協働の重要性を理解し説明できる。						
	4. 実践事例やゲストスピーカーの講話をもとに、地域包括ケアシステムの実際と課題を考察できる。						
	5. 地区分析を通して、地域の健康課題や強みを把握し、地域で生活する人々を支えるための看護の役割を考察できる。						
	6. 地域で「その人らしく健康に暮らすこと」を支えるために、看護職としてどのように関わるべきかを自分の言葉で表現できる。						
履修上の注意事項	<p>資料は講義時に配布します。欠席や紛失の場合は、事前に連絡してください。</p> <p>評価の課題点である、課題もしくは小テストを毎講義ごとに課しますが、欠席時の課題・小テストの受講は受け付けません。また期限を過ぎた提出物も受け付けません。</p> <p>授業中の私語、無断退出、携帯電話の使用は禁止です。</p>						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	4/10	地域包括ケアについて 【武田留美子】				事前学習：テキスト該当範囲の通読（10分）、事後学習：小テストの実施後の振り返り（90分）
	2	4/17	地域包括ケアと対象者（成人/難病，精神）【武田留美子】				事前学習：テキスト該当範囲の通読（10分）、事後学習：小テストの実施後の振り返り（90分）
	3	4/24	地域包括ケアの実際（地域包括支援センターと認知症の取り組み）*ゲストスピーカー 宇品・似島地域包括支援センター，広島市認知症推進員【宇品・似島地域包括支援センター，広島市認知症推進員/武田留美子】				事前学習：テキスト該当範囲の通読（10分）、事後学習：テキストと講義資料をもとに課題提出（90分）
	4	5/15	地域包括ケアと対象者（小児，母子，障害者・児）【武田留美子】				事前学習：テキスト該当範囲の通読（10分）、事後学習：小テストの実施後の振り返り（90分）
	5	5/22	地域包括ケアの実際（医療的ケア児） *ゲストスピーカー【福田美鈴/武田留美子】				事前学習：テキスト該当範囲の通読（10分）、事後学習：テキストと講義資料をもとに課題提出（90分）
	6	5/29	地域包括ケアの実際（母子）*ゲストスピーカー 【飯塚陽子/武田留美子】				事前学習：テキスト該当範囲の通読（10分）、事後学習：テキストと講義資料をもとに課題提出（90分）
	7	6/5	地域包括ケア（グループワーク 地区分析）【武田留美子】				事前学習：テキスト該当範囲の通読（10分）、事後学習：テキストと講義資料をもとに課題提出（90分）
	8	6/12	グループワーク発表 地域の人との交流 *ゲストスピーカー 宇品・似島地域包括支援センター，広島市認知症推進員【武田留美子】				事前学習：テキスト該当範囲の通読（50分）、事後学習：テキストと講義資料をもとに課題提出（50分）
成績評価方法	筆記試験60点。課題40点（講義日ごとに課題や小テストを課します。小テスト・課題1つにつき5点満点と換算）*欠席時の課題や小テストは評価しない。期限を過ぎたものも評価はしない。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	地域・在宅看護の基盤 第6版 /河原加代子（医学書院）*2年生で購入済み					978-4260046893	
	地域・在宅看護の実際 第6版 /河原加代子（医学書院）*2年生で購入済み					978-4-260-04714-2	
	国民衛生の動向2025/2026 （一般財団法人 厚生労働統計協会）*2年生で購入済み						
参考書							
教員からのメッセージ	<p>本授業では、これまで学んできた看護の知識や技術を土台として、地域包括ケアシステムの中で看護職が果たす役割について、より実践的に考えていきます。</p> <p>地域包括ケアは制度として完成されたものではなく、地域の特性や人々の暮らしに応じて、日々試行錯誤を重ねながらつくられている仕組みです。</p> <p>臨地実習や卒業後の現場では、「この人は地域でどのように生活しているのか」「どのような支援があればその人らしく暮らし続けられるのか」を考える力が求められます。</p> <p>本授業が、皆さんが看護職として地域に関わっていくための思考の軸を育てる機会となることを期待しています。</p>						
教員との連絡方法	Cラーニングで行います。必ず確認をしてください。						
実務経験のある教員	地域・在宅の経験のある教員が教授します						